

令和 8 年度 第 1 回埼玉県社会教育委員会議 次第

日 時：令和 8 年 9 月 1 1 日（金）
1 4 時 0 0 分～1 5 時 3 0 分
会 場：Teams開催

1 議長・副議長の選出

2 開 会

3 議 事

社会教育人材の育成・活躍促進のための環境整備について

4 閉 会

【配付資料】

- 1 埼玉県社会教育委員名簿
- 2 埼玉県社会教育委員に関する規則
- 3 社会教育人材の育成・活躍促進のための環境整備について（会議資料）

【参考資料】（「Ctrl+クリック」でリンク先のページをご参照いただけます。）

- 1 [第 11 期中央教育審議会生涯学習分科会における議論の整理：文部科学省](#)
- 2 [第 12 期中央教育審議会生涯学習分科会における議論の整理：文部科学省](#)
- 3 [第 4 期埼玉県教育振興基本計画（令和 6 年度～令和 10 年度）：埼玉県教育委員会](#)
- 4 [埼玉県生涯学習推進指針：埼玉県教育委員会 \(\[saitama.lg.jp\]\(http://saitama.lg.jp\)\)](#)
- 5 [社会教育人材の養成及び活躍促進の在り方について（最終まとめ）：文部科学省](#)
- 6 [社会教育士について：文部科学省](#)
- 7 [社会教育士フォローアップ研修について～令和 8 年度社会教育士フォローアップ研修実施機関の紹介～ | 文部科学省 | 社会教育士 note](#)
- 8 [コミュニティ・スクールと地域学校協働活動の一体的推進](#)
- 9 [総務省文科省連名通知「地域づくりに資する関連施策の一体的推進について」](#)



令和 8 年度第 1 回 埼玉県社会教育委員会議

社会教育人材の育成・活躍促進のための環境整備について

令和 8 年 9 月 1 1 日（金）

1

1. 社会教育主事と社会教育士

社会教育について

社会教育は、学びを通じて個人の成長を期するとともに、他者との協働的な活動を通じて人と人相互のつながりや社会とのつながりを形成していくものである。

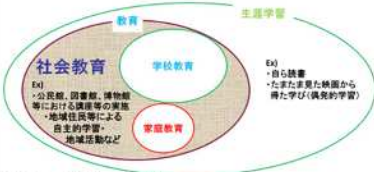
このように、学びを通じて「**人づくり・つながりづくり・地域づくり**」の循環を生み、**持続的な地域コミュニティを支える基盤となるものである**。

【参考】〈中央教育審議会 社会教育の在り方に関する特別部会（R8.5.25）資料 1 より抜粋〉
社会教育は、（中略）より具体的には、
地域課題の解決を図る活動を通じた地域コミュニティの維持・形成という「**地域づくり**」を目指し、
協働活動等を通じた顔が見えて自分事の範囲が重なる関係の構築である「**つながりづくり**」を実現するため、
楽しさや充足感ある学びや活動を通じた主体性の涵養を通じた「**人づくり**」を行う
教育的意図を有する活動として行われるものである。

社会教育の具体的な活動のイメージ

学校教育を除く組織的な教育活動を広く含み、
例えば、公民館における講座やサークル活動、
図書館・博物館が行う講座、
PTAや子ども会などの社会教育団体の活動、地
域住民による地域学校協働活動等が該当する
ほか、地域住民やNPO等が自主的・組織的に
行う幅広い学習活動・地域活動が該当する。

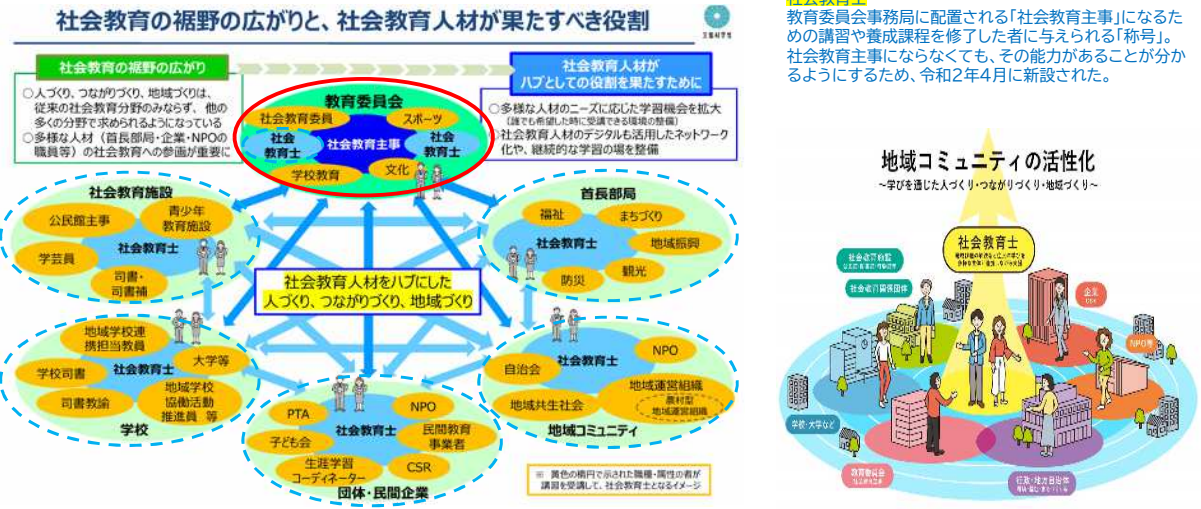
（参考）社会教育と生涯学習の関係性イメージ



○社会教育法（昭和24年法律第297号）（抄）
第2条 この法律において「社会教育」とは、学校教育法（昭和22年法律第26号）に基づき、
学校の教育課程として行われる教育活動を除き、主として青少年及び成人に対して行わ
れる組織的な教育活動（体育及びレクリエーションの活動を含む。）をいう。

2

1. 社会教育主事と社会教育士



3

1. 社会教育主事と社会教育士

社会教育士

社会教育士ってなに？

What?

行政・NPO・企業など様々な分野で活躍しています

子育てや介護が生む孤立、空き店舗が増える商店街、つながりが薄くなる地域コミュニティ、災害から命を守る防災の備え、防災、居場所がない子どもや若者

私たちのまちや暮らしにある様々な課題。その課題の解決に向けて、地域に暮らしみなさんを支えるのが「社会教育士」です。

[社会教育士について：文部科学省](#)

埼玉県立 共生社会 × 社会教育士

田口 ひろみさん

特定非営利活動法人ゼラリス 代表理事

東日本大震災を経て、障害の有無にかかわらず共生できる地域づくり

動画を見る

学校図書館 × 社会教育士

木下 通子さん

埼玉県立浦和第一女子高等学校 学校司書

地域で「本」と「人」をつなぐコーディネーター

動画を見る

4

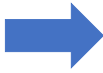
2. 令和7年度の協議の焦点

テーマ：社会教育人材の育成・活躍促進のための環境整備について

出発点

資格者を増やす

制度・配置・認知度を確保



議論の焦点

活動が生まれる
環境を整える

既存人材を見つける → 学び合う場をつくる → 地域・団体・企業と結ぶ → 実践につなげる

令和7・8年度を通じ、社会教育人材が地域課題の解決や人づくり・つながりづくりに力を発揮できる環境を継続協議する。

5

3. 令和7年度の協議経過

主な論点

- (1) 社会教育主事の配置促進について
- (2) 社会教育士の認知度向上や有用性の周知、活躍場所の拡大について
- (3) 社会教育人材のネットワーク化について
- (4) 継続的な学習機会の確保について

第1回 | R7.9.4



課題の共有・制度の理解

- ・社会教育主事の配置、社会教育士の認知度、活躍の場、ネットワーク、継続した学びの場の必要性を確認。
- ・役割・人数・活動実態・目標像が不明確という指摘。

第2回 | R8.1.22



既存人材の活躍を具体化

- ・社会教育士の得意分野、活動事例の発信、ネットワーク登録メリット、必要とする人と人材を結ぶ「動線」の必要性を議論。

第3回 | R8.3.30



機能と運営方法の設計

- ・ネットワークについて、名簿や「箱」にとどまらず、交流・研修・事例共有・マッチングから活動を生む仕組みの必要性を議論。

6

4. 活動につなげるための視点

01 活動事例で
役割・価値を見える化

02 専門性・関心・
活動条件を把握

03 活動が生まれる
「動線」を設計

04 継続学習と
当事者が動く仕組み

05 既存ネットワークに
横串を通す

06 双方のメリットと
役割を明確化

名簿や交流の場そのものを目的にせず、「出会う → 相談する → 企画する → 実践する」という流れをつくる。

7

5. 社会教育人材に期待される役割



つなぐ



つくる



支える



広げる

人・団体・行政・企業・
分野を結ぶ

学びや対話から企画・活
動を生み出す

助言・伴走・研修・情報
提供を行う

事例や成果を発信し、参
画を促す

社会教育主事は行政内外をつなぎ、社会教育士は多様な所属・専門性を生かして実践する

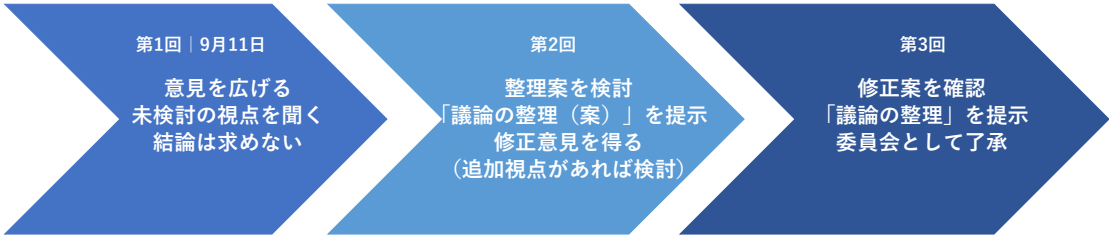
8

6. 環境整備の方向性

01	既存人材の活躍	資格取得者を増やすことだけでなく、既にいる社会教育士が力を発揮できる環境を重視する。
02	活動を生むネットワーク	登録者数ではなく、新たな連携・活動が生まれたかで捉え、地域・団体・企業への経路を整える。
03	県による広域支援	一律の名簿だけでなく、事例収集・発信、研修、交流機会、枠組みづくりで地域実践を支える。
04	専門職と実践者の連携	社会教育主事は行政内外をつなぎ、社会教育士は多様な所属・専門性を生かす。

9

7. 令和8年度の進め方



第1回の役割は「結論を出すこと」ではなく、第2回の整理案に必要な意見を集めること

10

8. 令和8年度第1回会議の論点

論点 1

自主的な活動を支える仕組み

- 社会教育人材が主体となって学び・つながり・実践する取組をどう支えるか
- 県と市町村は何を担うか
- 行政の支援と社会教育士の自主性をどう両立するか

論点 2

企業や団体の中に、社会教育の視点を持つ人材がいることで、期待できる変化や効果

- 組織内の学びや組織と地域とのつながりはどのように変わるのか

9. 社会教育士フォローアップ研修

情報提供する実践例

社会教育士フォローアップ研修

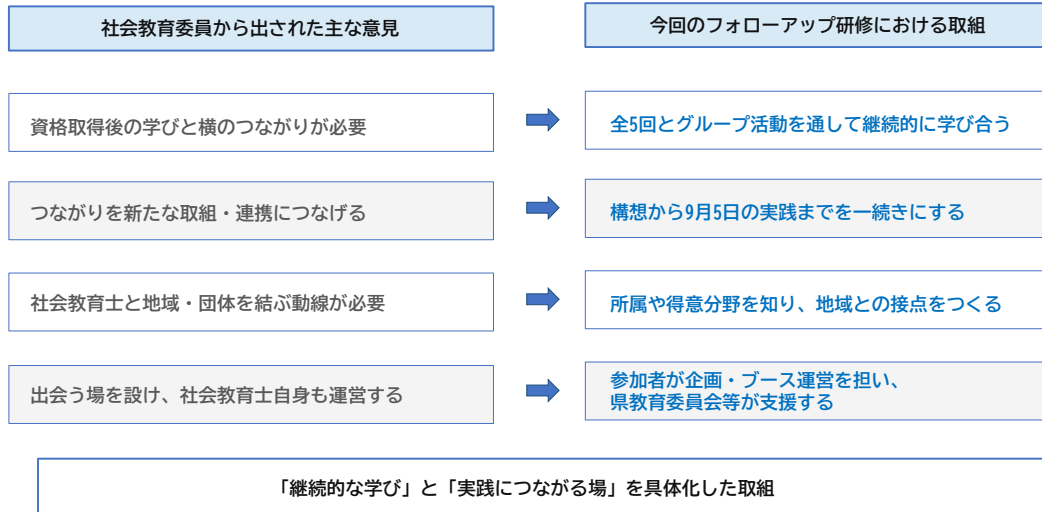
文部科学省委託事業 | 主催：一般社団法人ソブリン・ムーブメント | / 県教育委員会は後援、講師



社会教育士が中心となって運営／参加者が学びと実践・社会とのつながりを広げる研修プログラム

県主催ではなく、社会教育人材等の主体的な取組を行政が支える事例

9. 社会教育士フォローアップ研修



埼玉県社会教育委員会

13

13

9. 社会教育士フォローアップ研修

《社会教育士フォローアップ研修受講者によるブース出展》✕

- A：チーム「BOUSA I」
- B：占いから始まる妄想公民館☆
- C：思いを言葉に、言葉を形に～ワードクラウドアートで紡ぐ～
- D：地域課題×地域資源～ショッピングモールへの展開を例に～
- E：美(味)しい日本JP～和文化探究～
- F：社会教育人材マッピング&マッチング
- G：集まれ100人！「サウンドテーブルテニス」チャレンジ！
- H：謎解き+〇〇
- I：茨城県水戸生涯学習センター
- J：社会教育士トレカ
- K：グッズ試作品同好会

埼玉県社会教育人材プラットフォーム

※社会教育関係者や関心のある方が一堂に会する交流イベント



参加者自身が「つなぐ・つくる・支える・広げる」を実践

埼玉県社会教育委員会

14

14

A チームBOUSAI



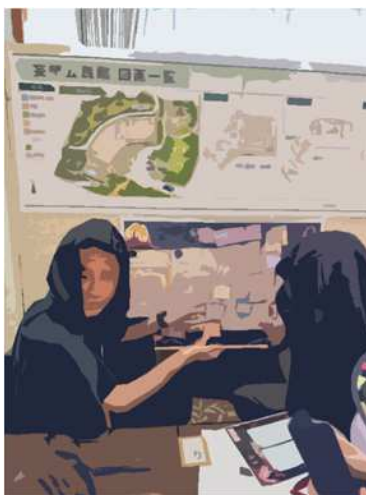
防災知識・意識の向上・
つながりづくり

埼玉県社会教育委員会

15

15

B 占いから始まる妄想公民館



公民館の「こうだった
らいいな」を引き出す



埼玉県社会教育委員会

16

16

C 思いを言葉に、言葉を形に～ワードクラウドアートで紡ぐ～



楽器に触れるなどの体験を通して生まれた気持ちを、言葉や色、形に残す



埼玉県社会教育委員会

17

17

D 地域課題×地域資源～ショッピングモールの展開を例に～

地域資源を発掘して掛け合わせ、地域につなげるしかけを考える



埼玉県社会教育委員会

18

18

E 美しい日本～和文化探究～



自分たちの文化を知る。
多文化共生社会、地域活性化
にもつながる。



埼玉県社会教育委員会

19

19

F 社会教育人財マッピング&マッチング

つながりが見える可して、
探し合う、繋がり合う
を実現



人財をさがす

名前・地域・キーワードで検索

クリア 該当 11 名 CSV書き出し

検索結果 11名(あいうえお順) — タップすると地図でその人が灯ります

- 11-0010 [] さいたま市
- 08-0003 [] 水戸市
- 14-0001 [] 川崎市
- 11-0016 [] 三芳町
- 11-0019 [] さいたま市浦和区

資格・立場

社会教育主事 社会教育士
社会教育主事有資格者(R1前) 社会教育関係者

活動分野/興味関心 #ハッシュタグ

#スポーツ・健康 #性教育 #多文化共生
#人権教育 #障害者の生涯学習
#ジェンダー平等 #世代間交流 #子育て

埼玉県社会教育委員会

20

20

G 集まれ100人！「サウンドテーブルテニス」チャレンジ！



年齢、国籍、障害を越えて楽しめる体験の場づくり

21

H 謎解き+〇〇

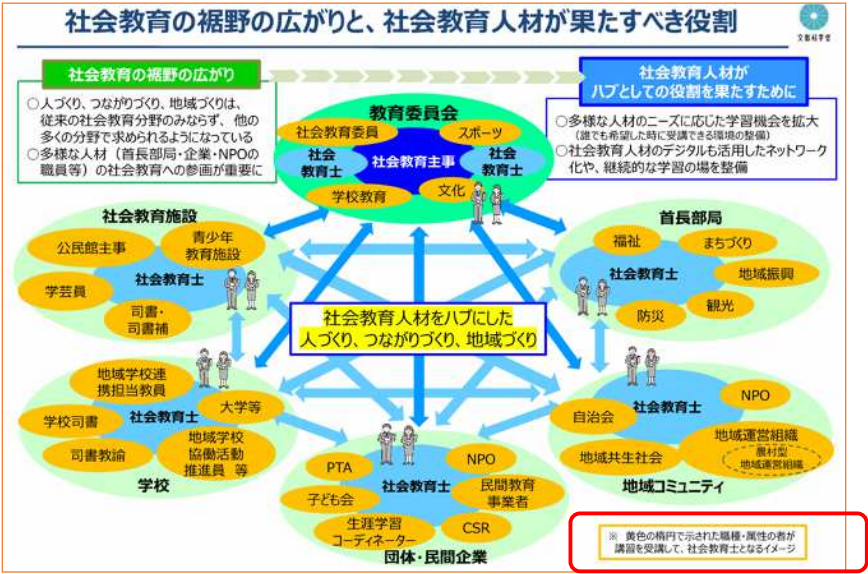


つながりのきっかけづくり、イベントを盛り上げる方法の提案



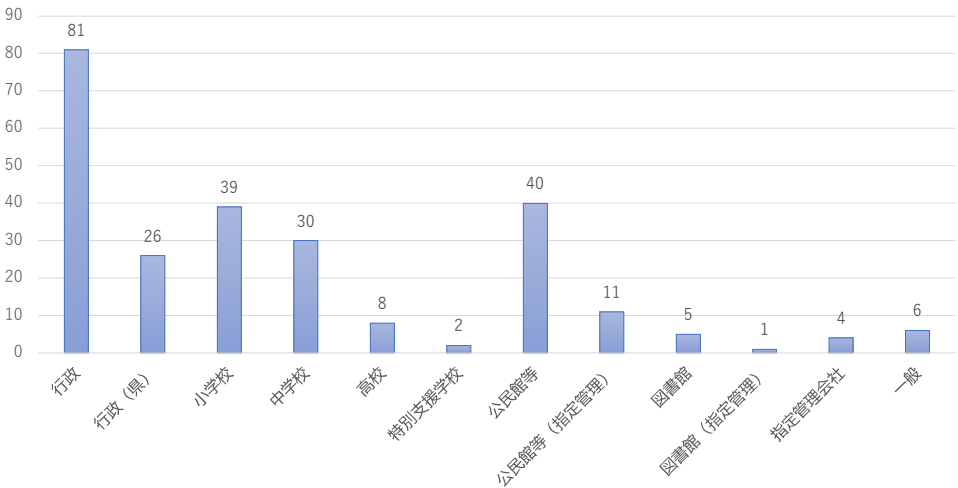
22

10.社会教育の裾野の広がり



10. 社会教育の裾野の広がり

社会教育主事講習修了者（業種別）



11. 論点

主な論点

- (1) 社会教育主事の配置促進について
- (2) 社会教育士の認知度向上や有用性の周知、活躍場所の拡大について
- (3) 社会教育人材のネットワーク化について
- (4) 継続的な学習機会の確保について

追加で議論いただきたい点

論点 1

自主的な活動を支える仕組み

- 社会教育人材が主体となって学び・つながり・実践する取組をどう支えるか
- 県と市町村は何を担うか
- 行政の支援と社会教育士の自主性をどう両立するか

論点 2

企業や団体の中に、社会教育の視点を持つ人材がいることで、期待できる変化や効果

- 組織内の学びや組織と地域とのつながりはどのように変わるのか